

# ユーザーの課題解決メソッドロジの試み及びプロダクト開発の実践

## Introduction スローガン「ユーザーの強い課題を発掘し解決する」の設定

### 我われはなぜここにいるのか

プロジェクトの始動時にアジャイルチームビルディングの「我われはなぜここにいるのか」というメソッドを活用したワークショップを行い、メンバ同士で経験や学習志向などを話し合いゴールへの意見を集め「ユーザーの強い課題を発掘し解決する」というスローガンを打ち出した。



#### チームの目的（我われはなぜここにいるのか）

##### ユーザーの強い課題を発掘し、解決するため

- 価値あるプロダクトとは、「課題の質」が高いものと定義した。
- ユーザーや社会の課題と向き合い、世の中に必要とされるものを作りたい。
- そのために参考図書「起業の科学」の体系立ったプロセスを実践する。

## Methods マーケティングメソッドの活用とアジャイル開発の実践

### PMF (Product Market Fit)

参考図書「起業の科学」でPMFを実践した。

- Step 1: Idea Verification (アイデアの検証)
- Step 2: Customer Problem Fit (課題の質を上げる)
- Step 3: Problem Solution Fit (ソリューションの検証)

### マーケティングメソッド

ユーザーの課題解決にマーケティングメソッドを活用した。

1. リーンキャンバス
2. ペルソナ
3. エンパシーマップ
4. カスタマージャーニーマップ
5. ユーザーインタビュー
6. UXブループリント

### アジャイル・スクラム

インクリメンタル開発のために、アジャイル・スクラムを実践した。

1. インセプションデッキ
2. ユーザーストーリーマッピング
3. スプリントプランニング
4. デイリースクラム
5. スプリントレビュー
6. スプリントレトロスペクティブ

### 開発環境

- クロスプラットフォーム開発: Flutter
- フルスタック開発: Java (Spring Boot)
- フロントエンド開発: Vue.js
- バックエンド開発: Python (Flask)
- クラウド: AWS, Firebase
- デザイン: Figma, Miro
- スキーマ駆動開発: OpenAPI
- CI/CD: GitHub Actions
- E2E自動テスト: Selenium IDE

## Results 4つのプロダクト開発とメソッド及びツール活用の学会発表

### Kinjiro



輪読会をもっと気軽に



輪読会を開催している団体が抱えている企画・準備の課題を解決する。書籍検索やイベント設定など、開催を支援する様々な機能を開発した。ベータ版をWeb公開し、ユーザーインタビューから改善に取り組んでいる。

### kaji-kaji



夫婦喧嘩の最大の要因は家事分担。対話を促し良好なパートナー関係を築く。MVPリリースを行い、パートナーとの対話の場作りの創出に成功した。今後は使用感の向上とユーザーへの認知を進める。

### IT資格サブリ



IT企業の中間管理職が抱える、人材育成の課題を解決する。部下のIT資格学習の進捗を短時間で把握する機能を開発した。ユーザーインタビューからユーザーの強い課題を発掘できた。

### 日本ソフトウェア科学会 第39回大会 発表



「プロジェクト演習での協働作業のためのツール及びメソッドの試み」

### ファミタス



家庭が抱える家事負担偏在の課題を試み、プロトタイプ開発とユーザーインタビューを行った。課題解決には対話の場作りが重要と判断し「kaji-kaji」の開発に結び付いた。

## Conclusion ユーザーの課題解決とプロダクト開発までのノウハウの獲得

アイデアの考案から、マーケティングメソッドを活用した仮説検証を経て、プロダクト開発までの一通りを実践したことで、当PTメンバーは情報アーキテクトとして造詣を深めることができた。今後もプロダクトが市場に受け入れられるか挑戦を続ける。